

学校だより ~三力一心~



夏休み中も頑張りました！

この通信は、不定期ですが、
月2回ほど発行します。

今年は一段と暑く感じる夏でした。オリンピックで盛り上がったからでしょうか。日本選手の活躍には、希望と感動をもらったような気がします。9月に始まるパラリンピックでも、熱戦を期待したいと思います。

さて、いよいよ2学期が始まりました。夏休み中、子どもたちの生活の様子はいかがだったでしょうか。ホッとされている保護者の方が多いかもしれませんね。

ただ、子どもからすれば、今日ほど憂鬱な気持ちで朝を迎えることはありません。帰宅したら、憂鬱に打ち勝った子どもをねぎらってあげてください。

ところで、この夏休み中には様々な大会やコンクールが開催されました。子どもたちの活躍ぶりを紹介します。

【宮崎県中学校総合体育大会】

県総合運動公園で行われた陸上競技に、本校から8名の選手が出場しました。入賞こそ逃しましたが、それぞれ自己新記録を目指して、大舞台でも堂々と競技してくれました。

【日向市小学校水泳大会】

日知屋小学校で行われた水泳大会に5、6年生の代表が出場しました。種目別で1位になった児童や自己新記録を出した児童など、それぞれに力を出し切ってくれました。また、本校児童の熱心な応援や礼儀正しさは、他校の先生方も注目するほどで、非常に高い評価を得ていました。小学部リーダーとして、成長の片鱗を見てくれた5、6年生に感謝です。

【愛鳥作品コンクール（ポスターの部）】

5年生が応募したこのコンクール。日向市内でも入選が難しいのですが、深見千広さんと川野颯太さんの作品が見事入選し、表彰をうけました。特に、千広さんの作品は県の審査会にも送られ、ここでも見事銅賞に輝いています。寄り添う2羽の鳥が生き生きと描かれた作品です。

【創造ものづくり教育フェア】

加納中学校で行われた宮崎県「あなたのためのおべんとう」コンクールに、9年生の黒木美鈴さんと田中那波さんが出場し、なんと最優秀賞を獲得しました。実際に調理しているところを審査されるのですが、その技術の高さがかなり高い評価を得たようです。うまくいけば、全国大会に出場することになるそうです(^o^)v

これから、運動会や渚フェスティバルに向けて準備が加速していきます。その中でも、子どもたちは大きな成長ぶりを見せてくれると信じています。乞うご期待！



「最強かつ最高の選手」

日本柔道がすばらしい活躍を見せたオリンピック。井上康生監督の男泣きに感動しました。

柔道選手として「最強」を目指すとともに、「自律心」や「自ら考える姿勢」を育てようとした指導者の姿勢には共感するものがあります。結果、選手は監督の方針に応え、ウォーミングアップ会場の掃除をしたり、率先して他の選手の応援をしたりするまでになったといいます。

五輪選手である前に、人として一流を目指す。まさしく「最高」の選手であり、これこそ日本人の心、武道家としての生き様であると深く感銘しました。

本校の課題はなんと言っても「学力向上」です。と同時に、社会で通用する道徳的価値観やマナー、コミュニケーション能力も身に付けさせたいと改めて考えました。

勉学に励み、人として誇れる「平岩の子ども」を育てるべく、2学期も頑張ります！

様々な体験も

夏休み中には、日向市主催の行事も多数ありました。

青少年ピースフォーラム（長崎市）には8年の児玉小夏さんが、また、平和交流事業（沖縄県）には9年の大方紀佳さんが参加し、それぞれ平和について理解を深める体験をしてきました。

8月22日の日向市子ども議会では、児玉龍斗さんと児玉小夏さんが、未来の日向市の在り方について、自然保護や商店街の活性化などの視点から意見を述べました。

日本にとって「人づくり」は喫緊の課題です。これから中学部は職場体験学習も控えています。多様な体験から自分の生き方を見つけてくれることを願うばかりです。

